

2021年 1 月期連結 決算補足説明資料

2021年 3 月15日(月)
株式会社三井ハイテック(6966)

I . 2021年 1 月期連結決算の概況

II . 2022年 1 月期連結決算・株主還元

III . 会社概要

IV . 参考資料

2019年 1 月期連結	19. 1
2020年 1 月期第 4 四半期連結	20. 1Q4
2020年 1 月期連結	20. 1
2021年 1 月期第 3 四半期連結	21. 1Q3
2021年 1 月期第 4 四半期連結	21. 1Q4
2021年 1 月期連結	21. 1
2021年 1 月期連結業績予想	21. 1F
2022年 1 月期連結業績予想	22. 1F

I . 2021年 1 月期連結決算の概況

連結業績（累計）

※EBITDA 営業利益+減価償却費

（単位：百万円）

	19.1	20.1	21.1					
	前々期	前期	実績	売上比	前期差	前期比	前々期差	前々期比
売上高	81,985	86,970	97,351	—	+ 10,380	111.9%	+ 15,365	118.7%
売上原価	72,574	77,929	83,939	86.2%	+ 6,009	107.7%	+ 11,364	115.7%
売上総利益	9,411	9,040	13,411	13.8%	+ 4,371	148.4%	+ 4,000	142.5%
販売費及び一般管理費	8,911	9,020	9,621	9.9%	+ 600	106.7%	+ 710	108.0%
営業利益	499	19	3,790	3.9%	+ 3,770	—	+ 3,290	758.5%
経常利益	817	153	3,907	4.0%	+ 3,754	—	+ 3,089	477.8%
税金等調整前当期純利益	915	△ 7	3,502	3.6%	+ 3,510	—	+ 2,587	382.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	302	△ 624	2,592	2.7%	+ 3,217	—	+ 2,289	856.2%
※EBITDA	6,656	7,175	11,368	11.7%	+ 4,193	158.4%	+ 4,711	170.8%
為替レート 米ドル	110.27	109.09	106.35	—	△ 2.74	—	△ 3.92	—

業績の状況

- ・ 春先に一時低迷した電動車の生産・販売台数が回復に転じ、成長基調を維持
- ・ 情報通信機器関連向けや5G向け半導体が巣ごもり需要もあり、急速に拡大
- ・ 後半から自動車の生産・販売台数増加に伴い、車載向け半導体の需要動向は拡大基調
- ・ 全グループを挙げて生産性向上と原価低減に注力

連結業績予想と実績値との差異

※21. 1Fは2020年12月10日に公表の2021年1月期通期連結業績予想数値

(単位：百万円)

	21. 1F	21. 1		
	通期	実績	予想差	予想比
売上高	95, 000	97, 351	+ 2, 351	102. 5%
営業利益	2, 600	3, 790	+ 1, 190	145. 8%
経常利益	2, 700	3, 907	+ 1, 207	144. 7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1, 900	2, 592	+ 692	136. 4%

差異の理由

- ・電子部品と電機部品において前回予想を上回る売上
- ・電子部品は主に情報通信機器関連や車載向け半導体需要が増加
- ・電機部品は主に電動車向けモーターコア需要が増加
- ・売上増により利益増

連結業績（四半期）

（単位：百万円）

	20. 1Q4	21. 1Q3	21. 1Q4					
	前同期	直前期	実績	売上比	直前差	直前比	前同差	前同比
売上高	22, 504	25, 459	27, 849	—	+ 2, 389	109. 4%	+ 5, 344	123. 8%
売上原価	20, 166	21, 747	23, 508	84. 4%	+ 1, 760	108. 1%	+ 3, 342	116. 6%
売上総利益	2, 338	3, 712	4, 341	15. 6%	+ 628	116. 9%	+ 2, 002	185. 6%
販売費及び一般管理費	2, 214	2, 554	2, 435	8. 7%	△119	95. 3%	+ 221	110. 0%
営業利益	124	1, 157	1, 905	6. 8%	+ 748	164. 7%	+ 1, 781	—
経常利益	176	1, 228	1, 892	6. 8%	+ 664	154. 1%	+ 1, 716	—
税金等調整前当期純利益	△ 23	1, 237	1, 478	5. 3%	+ 240	119. 4%	+ 1, 501	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 307	950	1, 110	4. 0%	+ 160	116. 9%	+ 1, 418	—

セグメント別の概況（累計）

（単位：百万円）

		19.1	20.1	21.1					
		前々期	前期	実績	営利率	前期差	前期比	前々期差	前々期比
売上高	金型	7,934	8,961	8,545		△416	95.4%	+ 611	107.7%
	電子部品	41,505	36,465	39,895		+ 3,430	109.4%	△1,609	96.1%
	電機部品	34,724	44,377	52,966		+ 8,588	119.4%	+ 18,241	152.5%
	工作機械	2,004	1,672	871		△800	52.1%	△1,132	43.5%
	調整額	△4,182	△ 4,507	△ 4,928		△420	—	△745	—
	合計	81,985	86,970	97,351		+ 10,380	111.9%	+ 15,365	118.7%
営業利益	金型	1,117	1,085	958	11.2%	△126	88.3%	△158	85.8%
	電子部品	△856	△ 1,390	1,515	3.8%	+ 2,905	—	+ 2,371	—
	電機部品	2,811	2,903	4,527	8.5%	+ 1,623	155.9%	+ 1,715	161.0%
	工作機械	234	84	△ 243	—	△327	—	△477	—
	調整額	△2,807	△ 2,664	△ 2,968		△303	—	△160	—
	合計	499	19	3,790		+ 3,770	—	+ 3,290	758.5%

対前年同期との増減要因

金 型	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて需要は低迷 ・生産能力増強のための設備投資を実施したことによる減価償却費などの営業費用が増加
電 子 部 品	・情報通信機器関連、5G、車載向け半導体の需要回復 ・増収効果および固定費削減に注力したことによる増益
電 機 部 品	・春先に電動車向けの生産・販売は一時低迷したものの、駆動・発電用モーターコアの需要は成長基調を継続 ・増収効果による増益
工 作 機 械	・国内外顧客の設備投資の先送りによる市場の低迷が継続



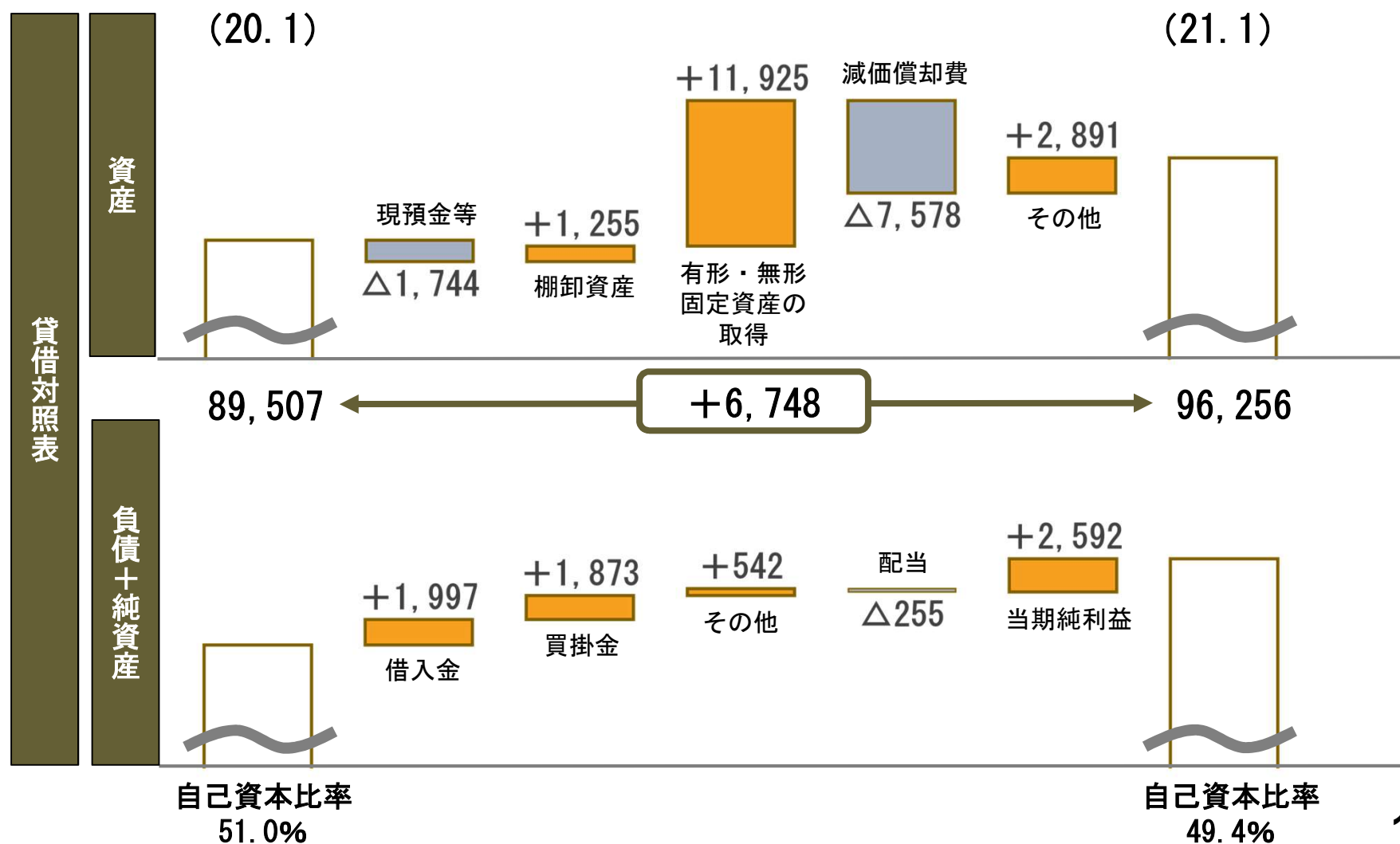
セグメント別の概況（四半期）

（単位：百万円）

		20. 1Q4	21. 1Q3	21. 1Q4					
		前同期	直前期	実績	営利率	直前差	直前比	前同差	前同比
売上高	金型	2,312	1,978	2,179		+ 200	110.2%	△132	94.3%
	電子部品	9,252	9,789	10,827		+ 1,037	110.6%	+ 1,574	117.0%
	電機部品	11,874	14,765	16,040		+ 1,274	108.6%	+ 4,165	135.1%
	工作機械	378	239	234		△5	97.8%	△144	61.9%
	調整額	△ 1,313	△ 1,314	△ 1,432		△118	—	△118	—
	合計	22,504	25,459	27,849		+ 2,389	109.4%	+ 5,344	123.8%
営業利益	金型	227	187	318	14.6%	+ 130	169.4%	+ 90	140.0%
	電子部品	△ 209	270	629	5.8%	+ 359	232.8%	+ 838	—
	電機部品	705	1,612	1,955	12.2%	+ 343	121.3%	+ 1,249	277.1%
	工作機械	△ 10	△ 59	△ 84	—	△25	—	△73	—
	調整額	△ 588	△ 854	△ 913		△59	—	△324	—
	合計	124	1,157	1,905		+ 748	164.7%	+ 1,781	—

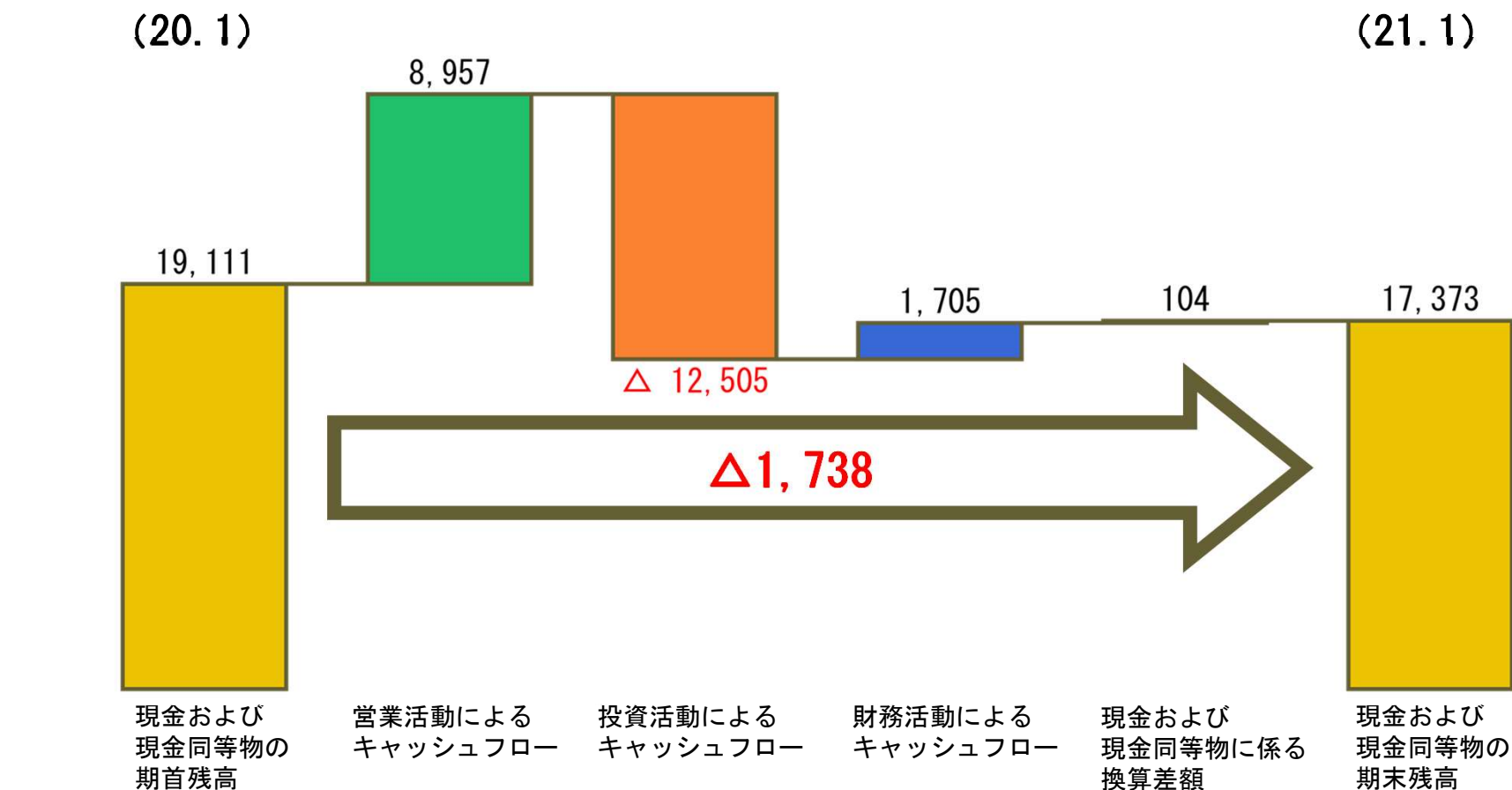
連結貸借対照表

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・仕入債務の増加
- ・減価償却費の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・主に生産能力増強を目的とした有形固定資産の取得

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・設備投資を用途とする長期借入の実施

Ⅱ . 2022年 1 月期連結決算 ・ 株主還元

業績予想

(単位：百万円)

	21. 1	22. 1F		
	通期	予想	前期差	前期比
売上高	97, 351	110, 000	+ 12, 649	113. 0%
営業利益	3, 790	4, 700	+ 910	124. 0%
経常利益	3, 907	4, 700	+ 793	120. 3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2, 592	3, 300	+ 708	127. 3%
設備投資額	11, 925	23, 000	+ 11, 075	192. 9%
減価償却費	7, 578	10, 000	+ 2, 422	132. 0%
為替レート 米ドル	106. 35	105. 00	△1. 35	—

見通し

世界経済の先行きは不透明ながらも、情報通信機器、5 G、車載向けの半導体需要並びに電動車需要は引続き拡大する見通しのもと予想

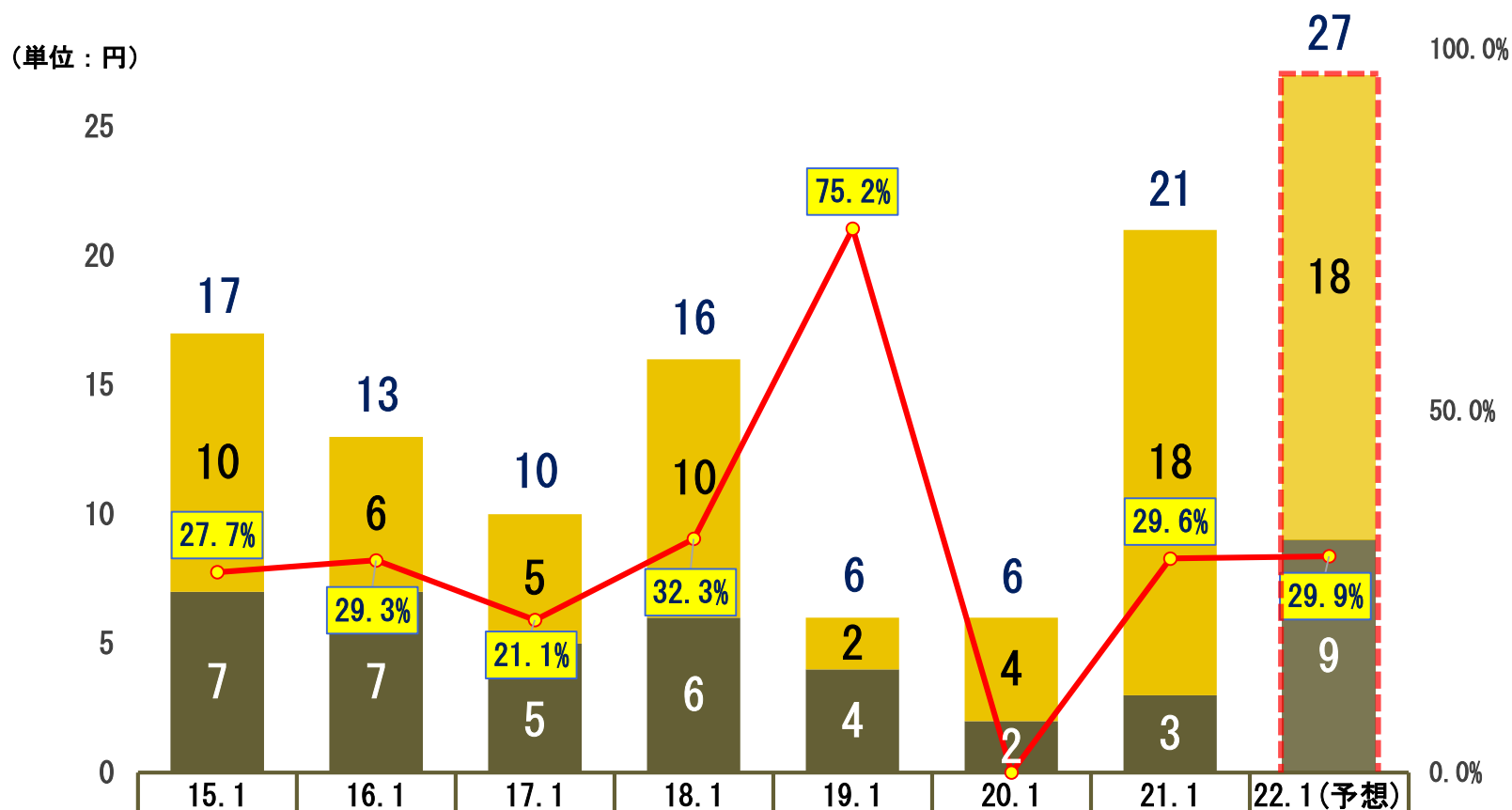
各セグメントの見通し

見通し及び取り組み内容	
金 型	生産性向上及び設備増強により生産能力を拡大
電 子 部 品	- 情報通信機器関連、5 G、車載向け半導体の需要動向が拡大基調を維持 - 生産性向上、原価低減を継続
電 機 部 品	- 電動車の駆動・発電用モーターコアの受注は堅調に推移 - 車載用モーターコアの受注拡大、省エネ家電製品用モーターコアの拡販
工 作 機 械	- 提案型営業を展開し受注を確保 - 新技術を織り込んだ研削盤の開発に注力

株主還元：配当金

配当方針

利益配分については連結配当性向30%を目処に、業績を勘案した配当を行うことを基本方針としております。



1株当たり配当金(期末)	10	6	5	10	2	4	18	18
1株当たり配当金(中間)	7	7	5	6	4	2	3	9
配当性向(%)	27.7%	29.3%	21.1%	32.3%	75.2%	—	29.6%	29.9%

Ⅲ. 会社概要



会社概要

社 名	株式会社三井ハイテック (東証 1 部 6966)
代 表 者	代表取締役社長 三井康誠 (ミツイ ヤスナリ)
本 社 所 在 地	福岡県北九州市八幡西区小嶺二丁目10番1号
創 立	1949年1月
資 本 金	164億388万円
事 業 内 容	金型、電子部品、電機部品、工作機械の製造・販売
事 業 所	福岡県:4ヶ所、熊本県:1ヶ所、岐阜県:1ヶ所
営 業 拠 点	東京／大阪／名古屋／豊田／仙台／北九州
従 業 員 数	4,011名 (2021年1月末現在 連結)
グ ル ー プ 会 社	国 内 福岡県: (株)三井スタンピング 海 外 シンガポール・香港・マレーシア・天津・上海・台湾・ タイ・広東・カナダ・ポーランド
海 外 事 務 所	北京・成都・新竹・フィリピン・サンノゼ・シカゴ・ミラノ・ フランクフルト

三井ハイテックの歴史

戦後復興期
(1945-1955)

高度成長期
(1956-1974)

安定成長期
(1975-1985)

バブル景気
(1986-1991)

低成長期
(1992-)

家電ブーム

ハイブリッドカー発売 (1997)

高度経済成長・大量生産の時代

- 1949年 創業者三井孝昭が三井工作所を創業
- 1954年 熱処理後総研削仕上げ金型により、機械による金型量産化を実現
- 1959年 タングステンカーバイド精密打抜き金型の実用化

半導体産業の勃興

- 1966年 ICリードフレーム用打抜き金型の開発
- 1969年 ICリードフレームの量産を開始
- 1975年 MACシステムの実用化
- 1984年 商号を株式会社三井ハイテックに変更

自動車の電動化の時代

- 1997年 ハイブリッドカー向け金型の開発
- 2017年 ミツイ・ハイテック（カナダ）が量産開始
- 2019年 岐阜事業所が量産開始
- 2021年 ミツイ・ハイテック（ヨーロッパ）が量産開始

4つのセグメントの製品

金型

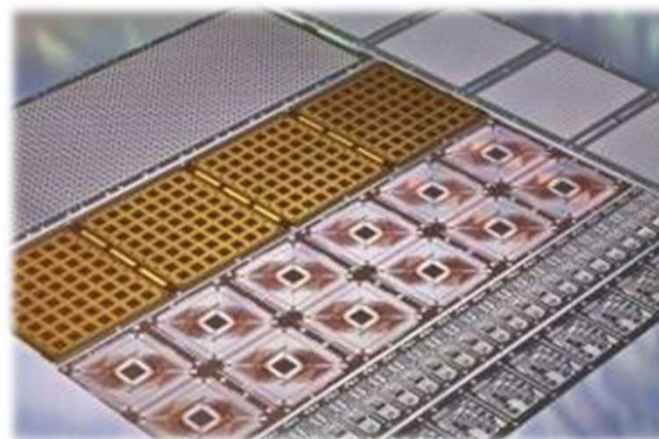


(モーターコア用打抜き金型)

(IC リードフレーム用打抜き金型)

電子部品

(リードフレーム)



電機部品

(モーターコア)



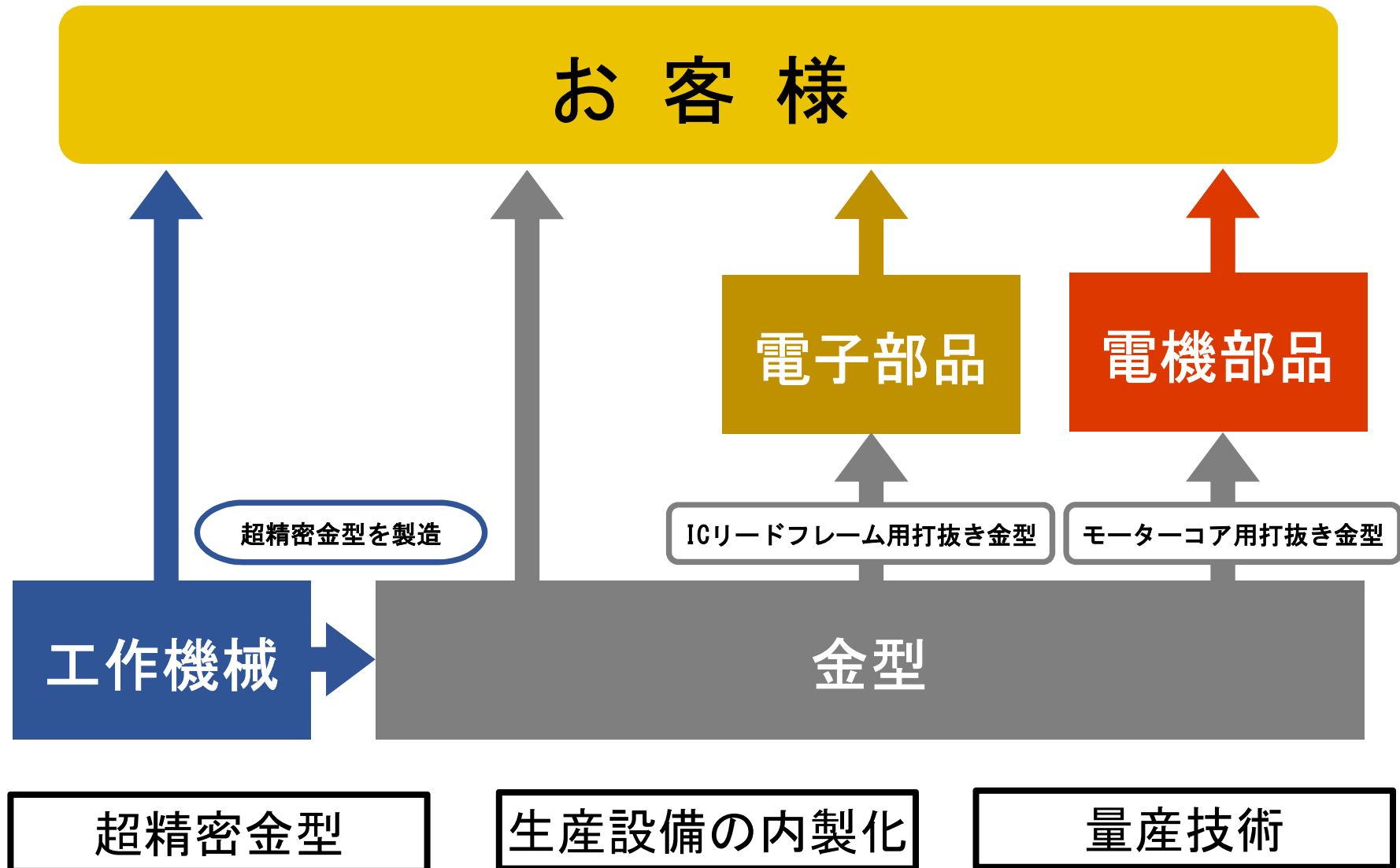
工作機械

(平面研削盤)





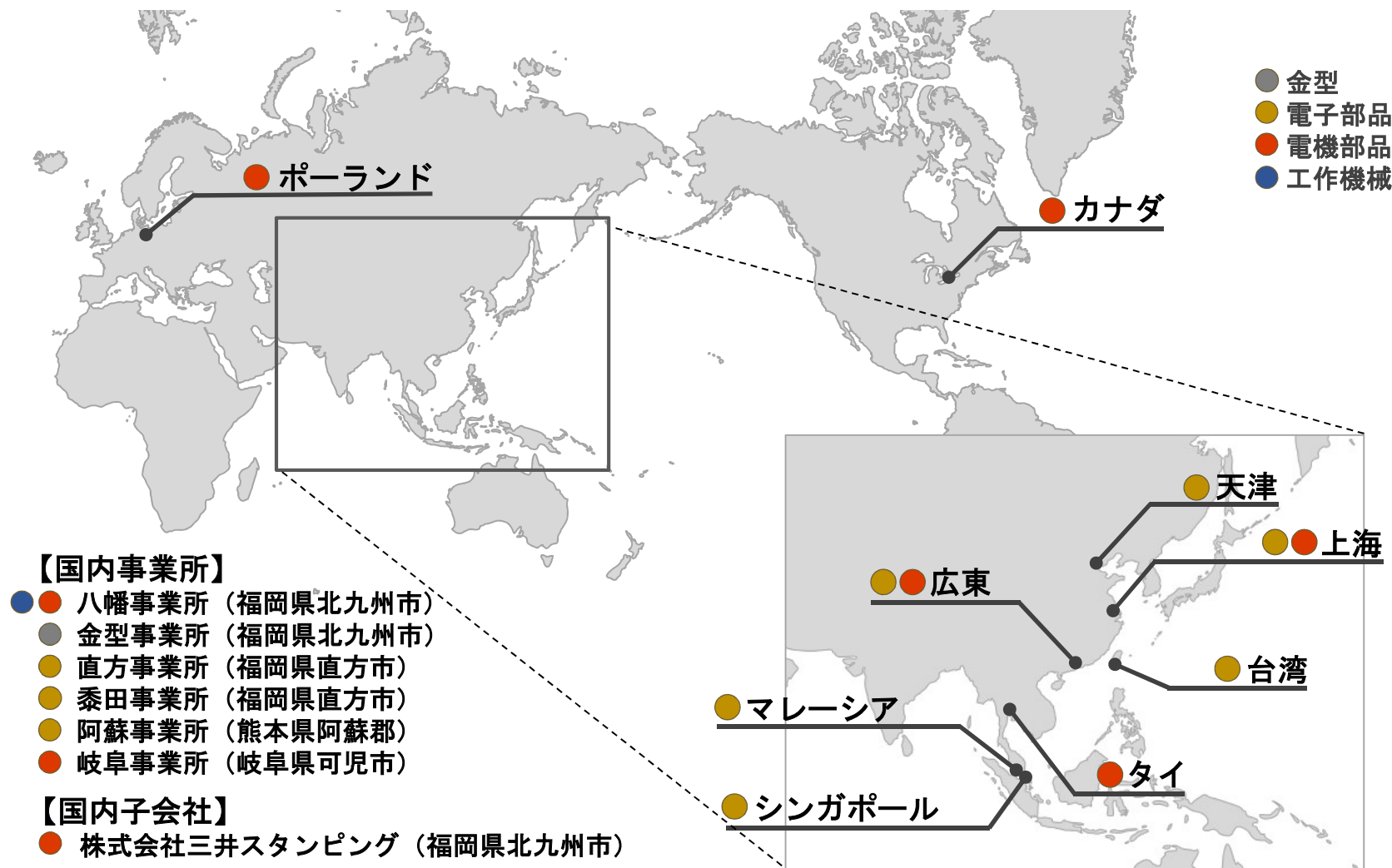
セグメント間の関係について



グローバル生産拠点

1960年代より海外に進出

生産拠点数：16拠点（海外9拠点、国内7拠点）



中長期的な経営目標

(単位：百万円)

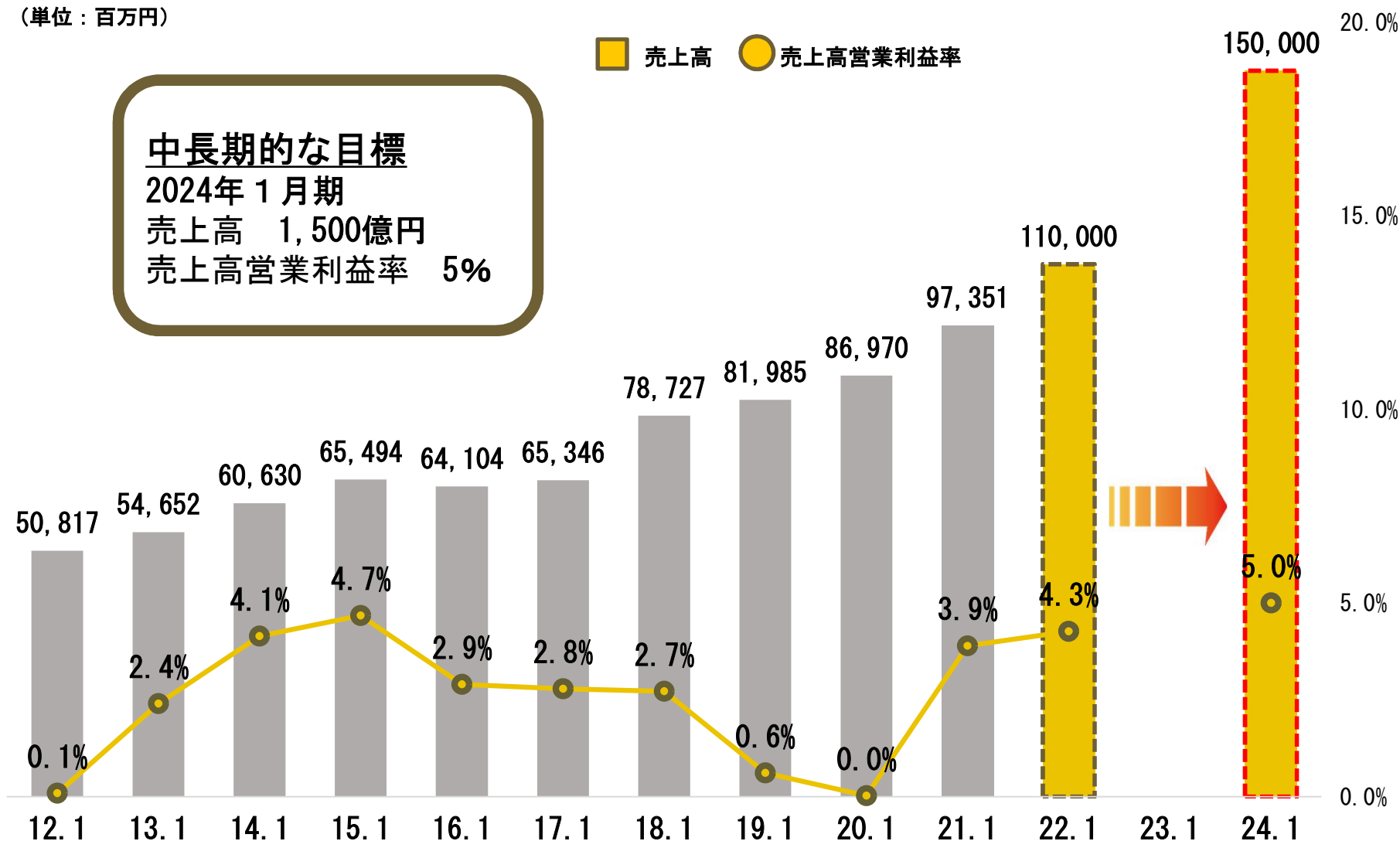
■ 売上高 ● 売上高営業利益率

中長期的な目標

2024年1月期

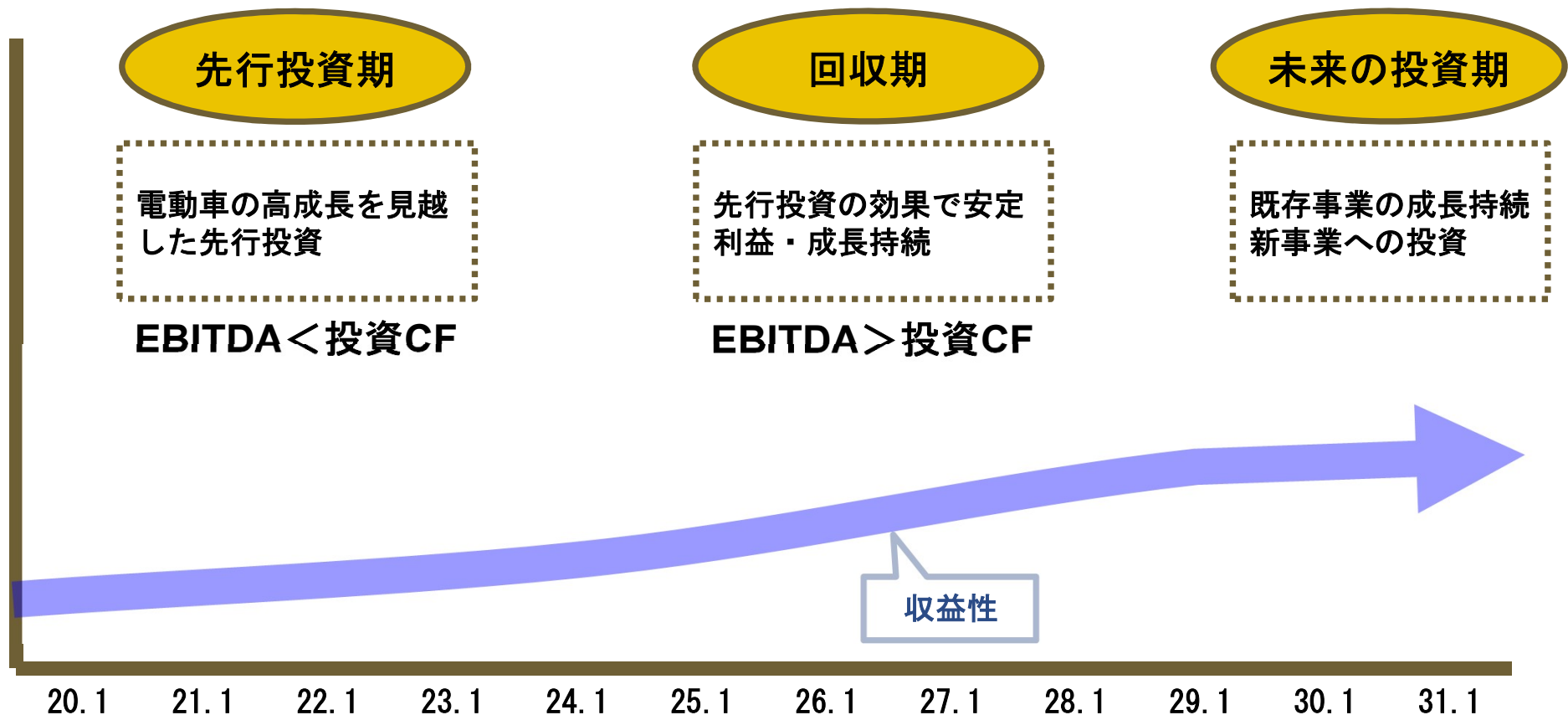
売上高 1,500億円

売上高営業利益率 5%



設備投資計画イメージ

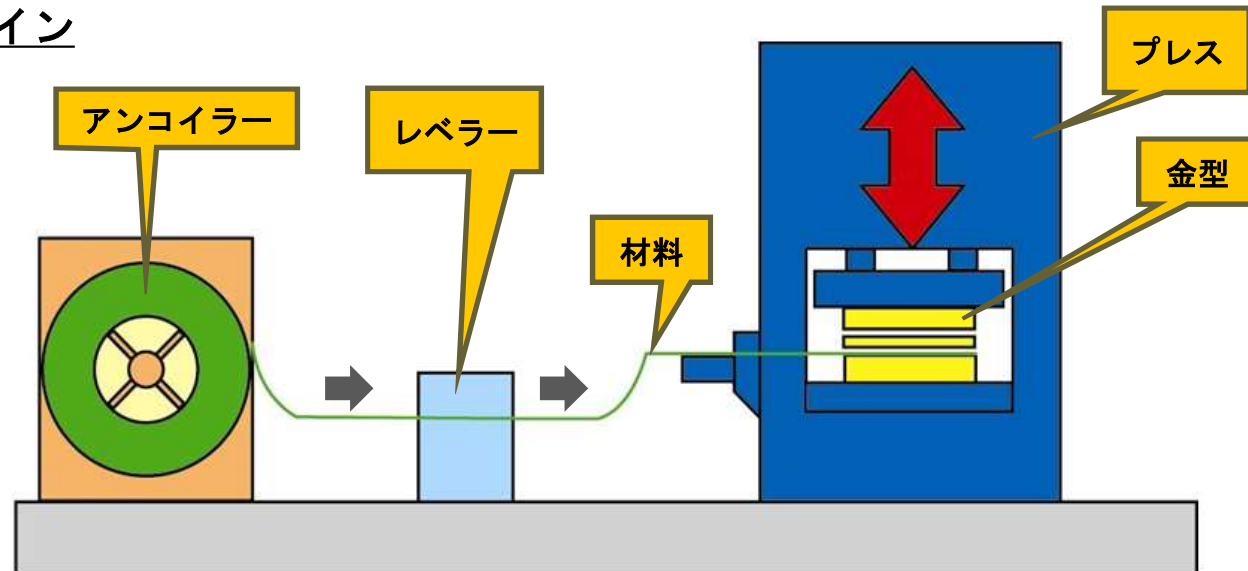
各生産拠点（日本・中国・アジア・北米・欧州）
の顧客の需要に応じて生産能力を向上



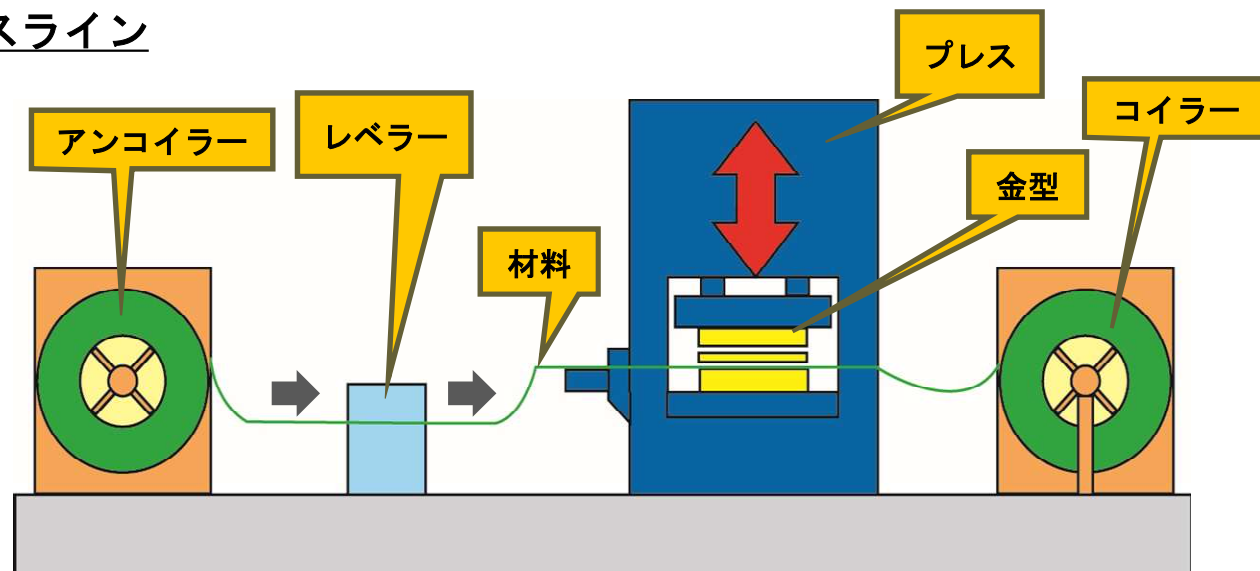
IV. 参考資料

金型を使用した量産ラインイメージ

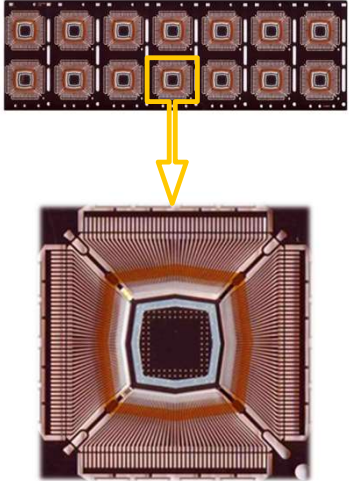
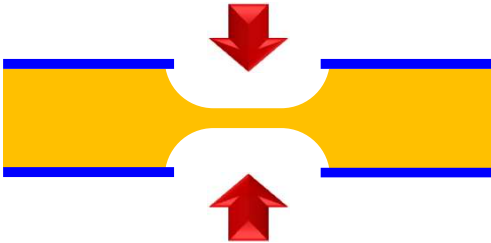
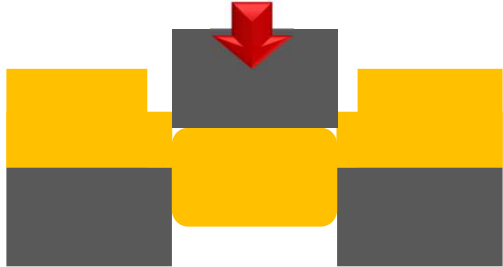
モーターコア用プレスライン



ICリードフレーム用プレスライン

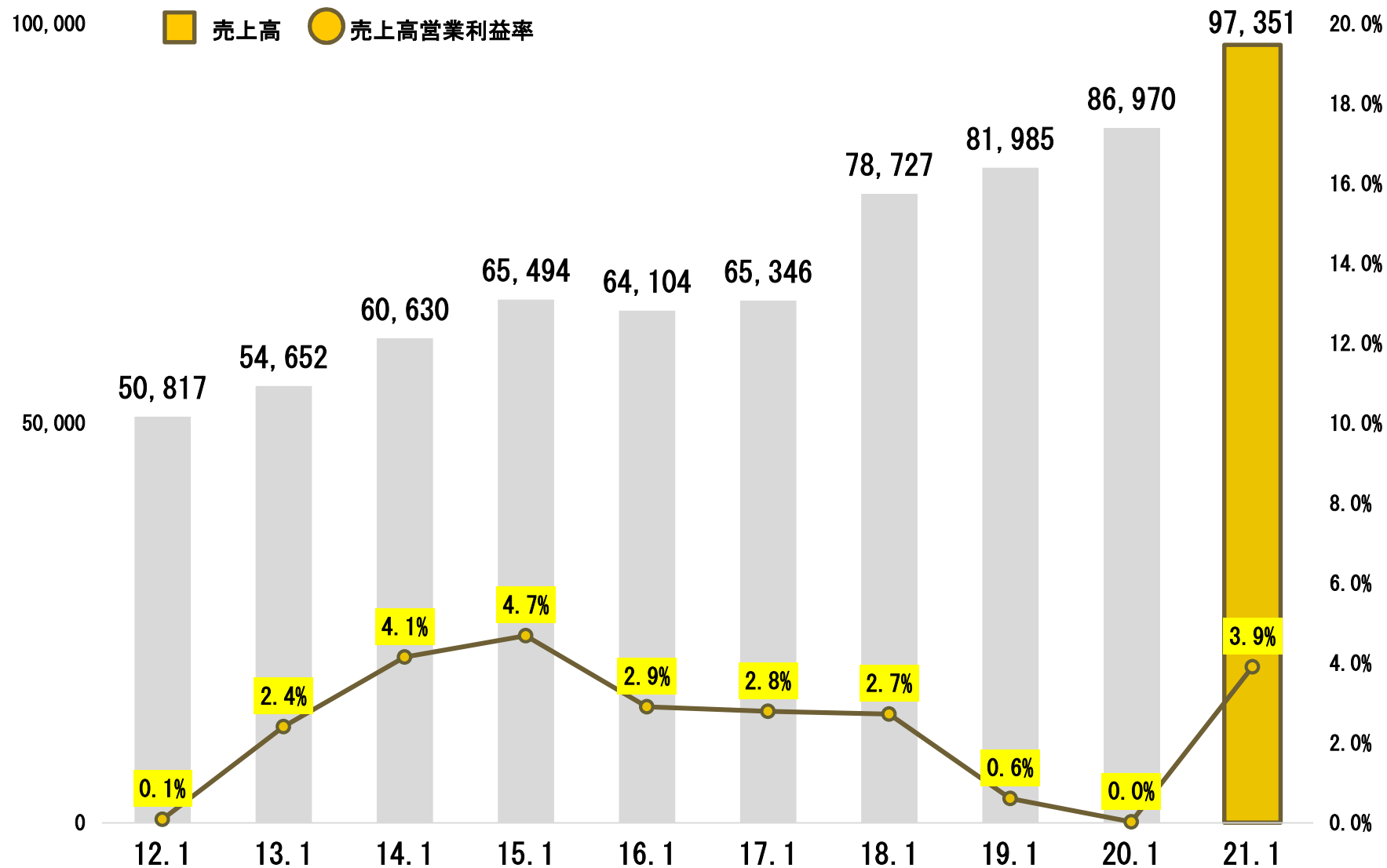


ICリードフレームの生産方法

	エッチングICリードフレーム	スタンピングICリードフレーム
	薬品で金属を溶かす工法 	金型で金属を打ち抜く工法 

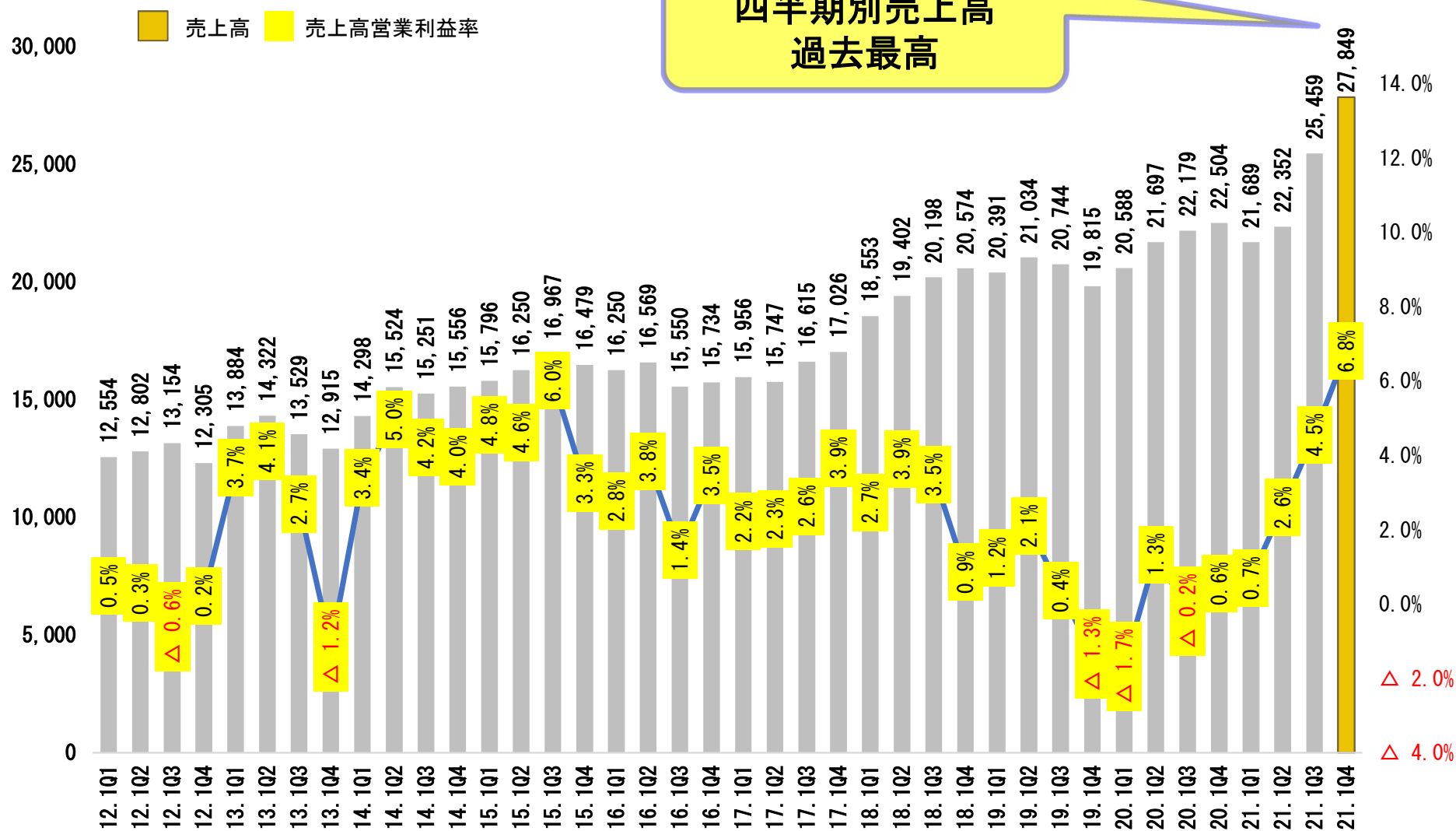
連結業績過年度推移(会計年度別)

(単位：百万円)



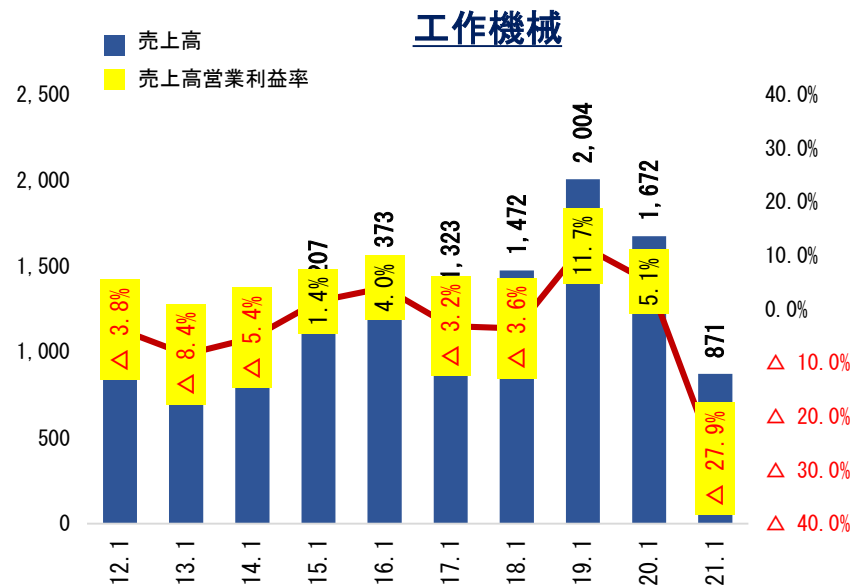
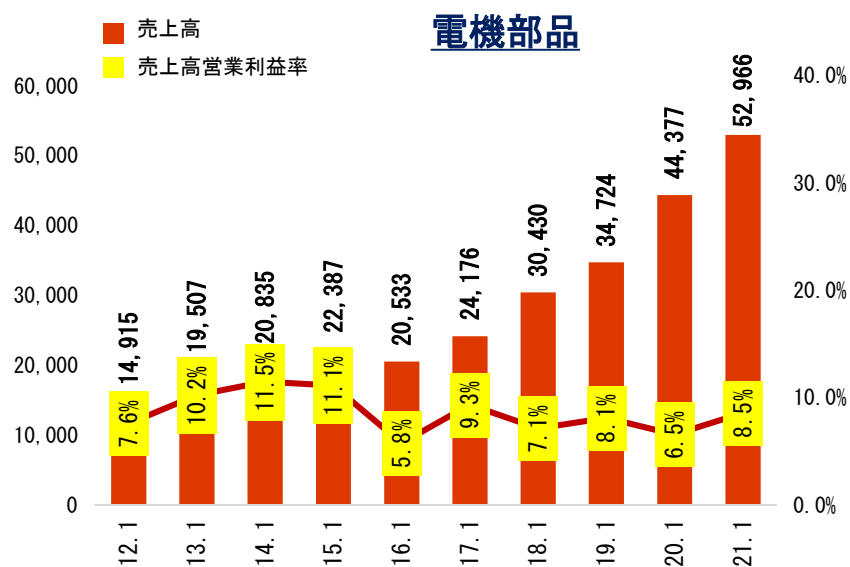
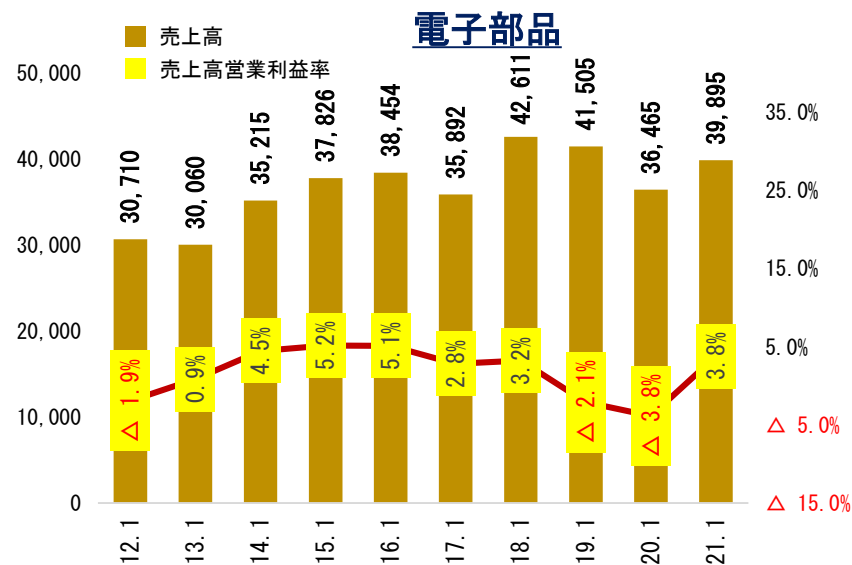
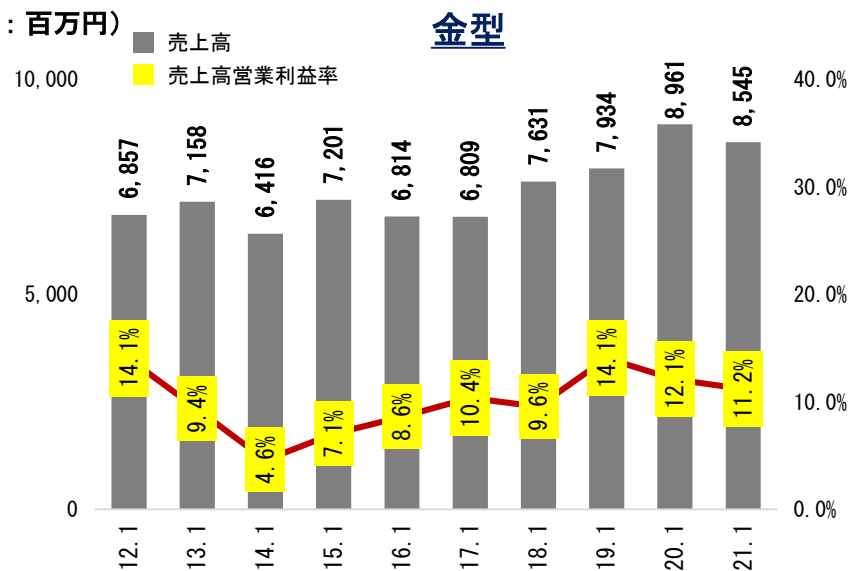
連結業績過年度推移 (四半期別)

(単位：百万円)



セグメント別業績推移(会計年度別)

(単位：百万円)

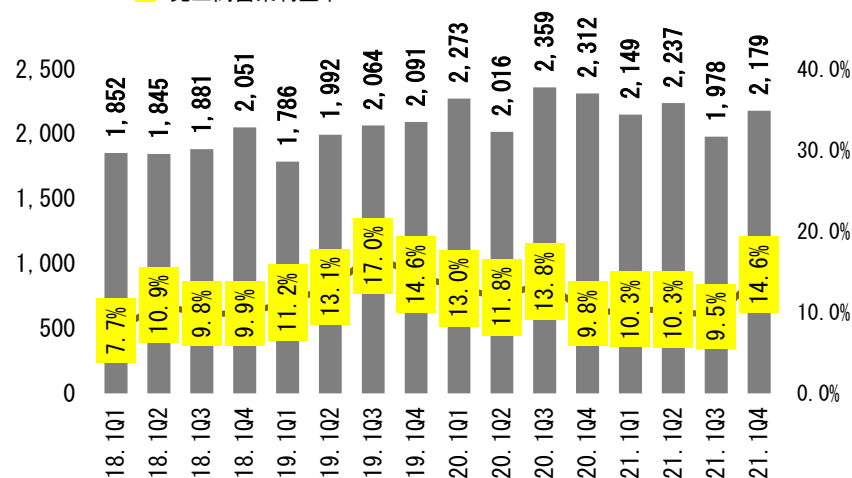


セグメント別業績推移(四半期別)

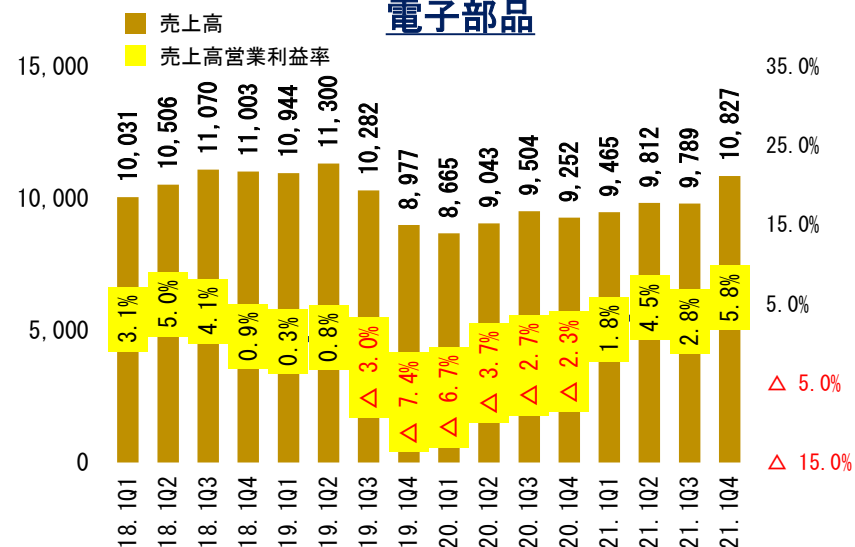
(単位：百万円)

■ 売上高
■ 売上高営業利益率

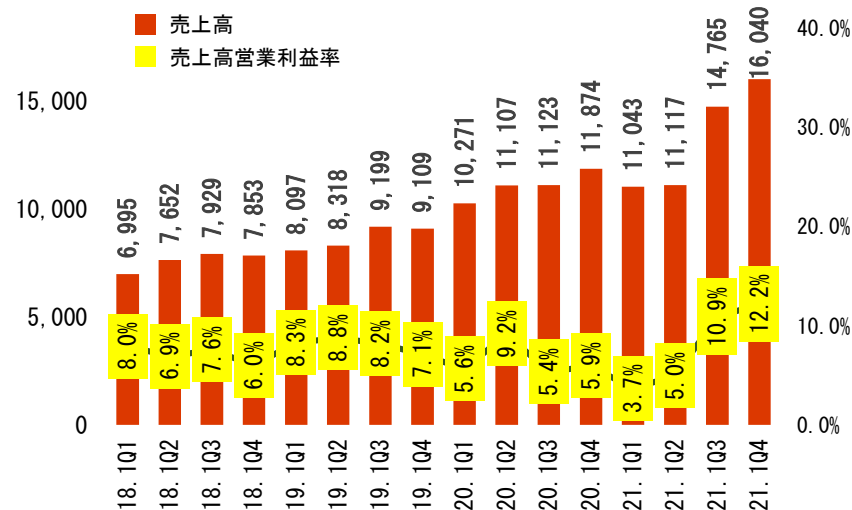
金型



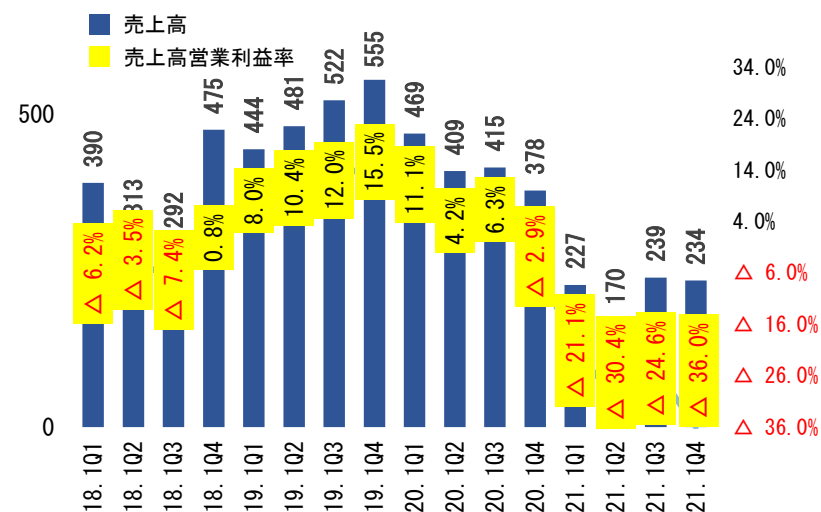
電子部品



電機部品

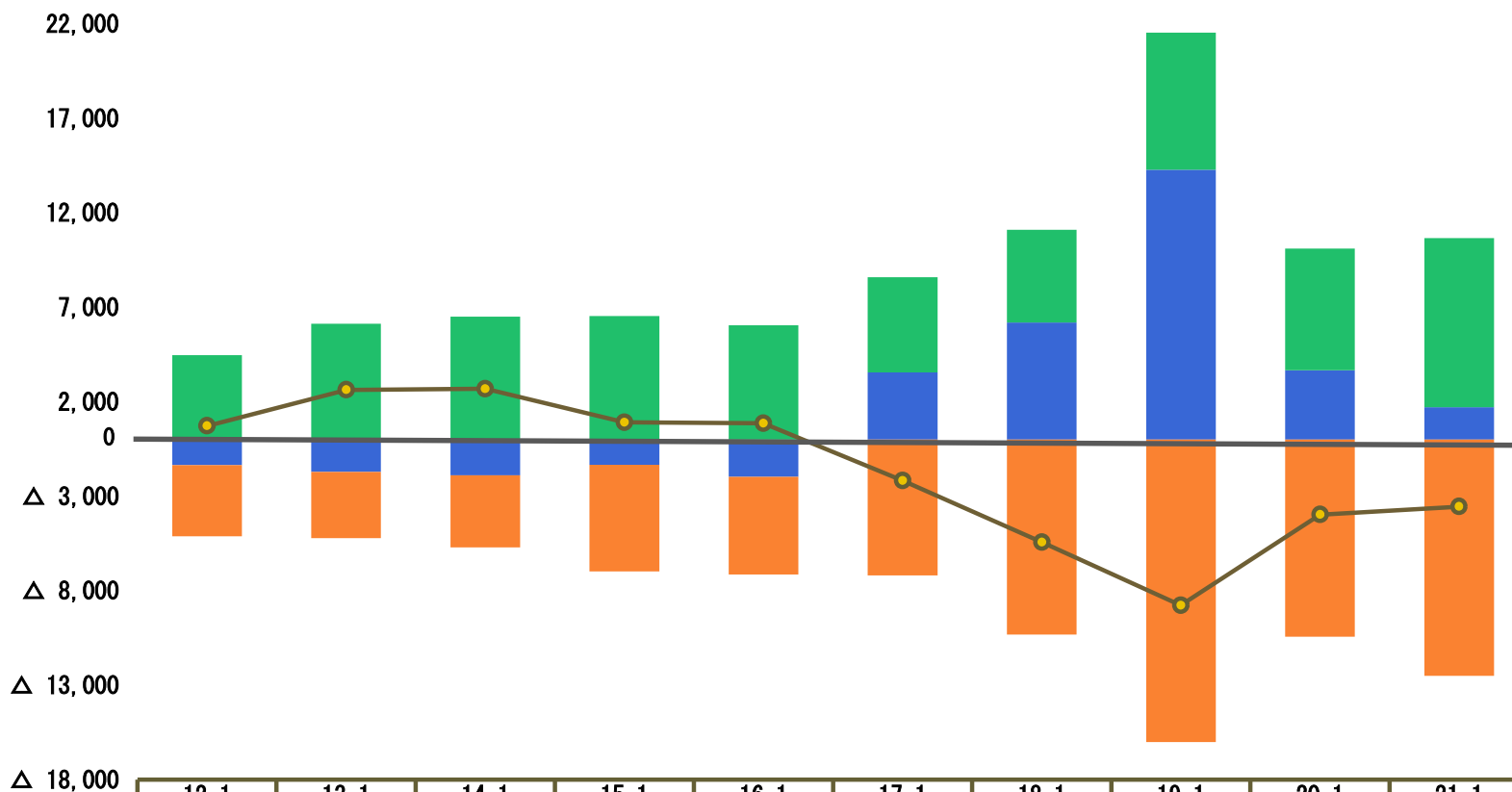


工作機械



キャッシュフローの推移

(単位：百万円)



	12.1	13.1	14.1	15.1	16.1	17.1	18.1	19.1	20.1	21.1
営業キャッシュフロー	4,474	6,135	6,508	6,542	6,047	5,029	4,899	7,238	6,453	8,957
投資キャッシュフロー	△ 3,749	△ 3,506	△ 3,815	△ 5,625	△ 5,177	△ 7,197	△ 10,332	△ 16,016	△ 10,426	△ 12,505
財務キャッシュフロー	△ 1,361	△ 1,718	△ 1,881	△ 1,341	△ 1,974	3,567	6,208	14,298	3,660	1,705
※フリーキャッシュフロー	724	2,629	2,693	917	870	△ 2,167	△ 5,432	△ 8,777	△ 3,973	△ 3,548

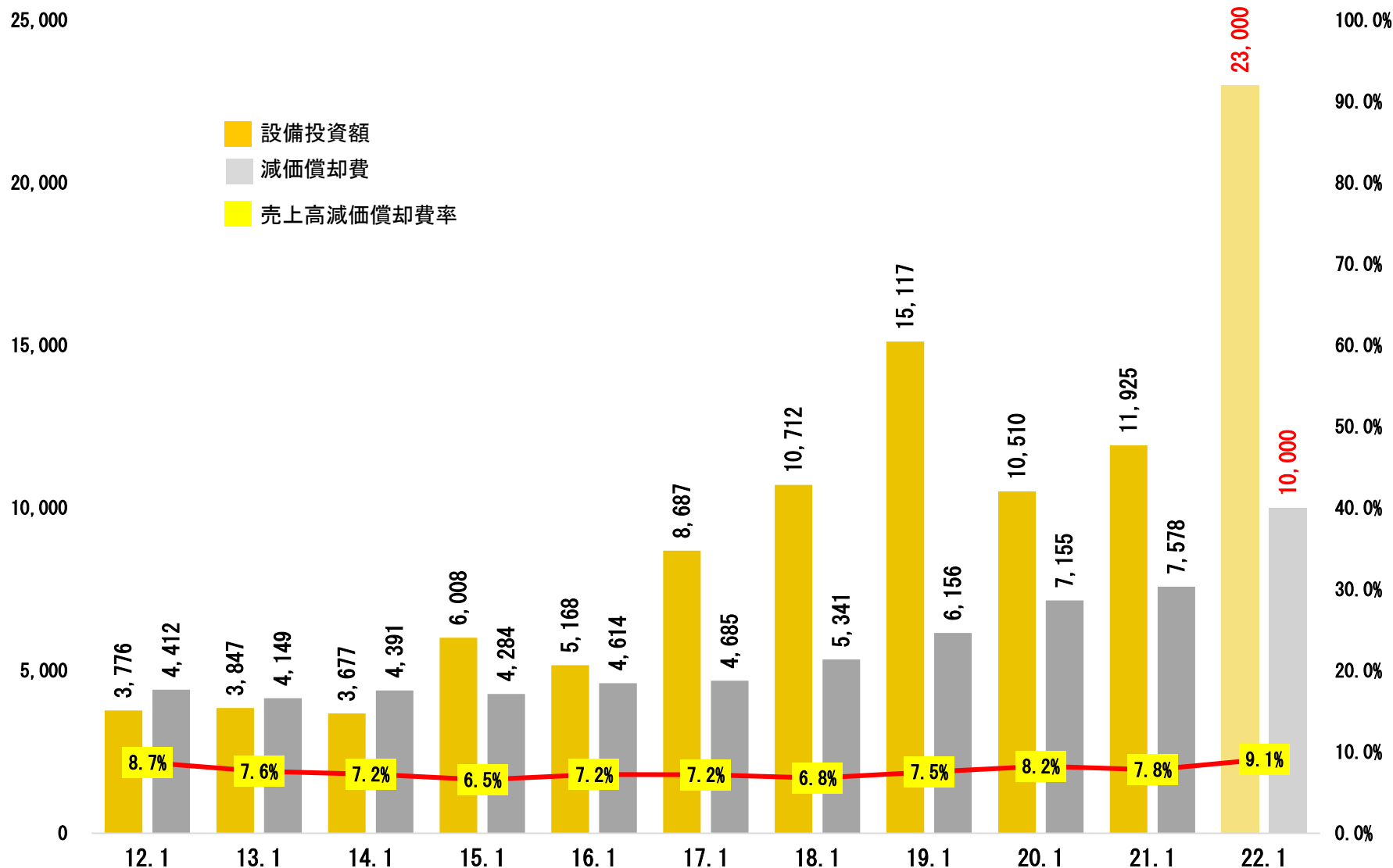
※フリーキャッシュフロー 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー



Mitsui
High-tec
Inc.

設備投資額 & 減価償却

(単位：百万円)



本資料に関する問い合わせ

株式会社 三井ハイテック

管理本部 総務管理部
総務部 広報グループ

TEL 093-614-1112

本資料に記載の業績見通しなどの将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報と合理的と判断する前提に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。今後の世界経済、需要、為替・株式市場の動向等の様々な要因によって、実際の業績とは大幅に異なる可能性がありますことをご理解ください。